

寿楽苑だより

134号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏 明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 7年 3月 20日

理事長就任のご挨拶



小林 嘉次
理事長

1月4日、野島浩前理事長がご逝去され、1月23日に開催の理事会におきまして、後任として理事長に選任されました小林嘉次と申します。

私、平成27年舟見寿楽苑の理事に就任、これまで10年近く務めさせていただきました。しかし、理事長とはその責任の重さが大きく異なっており、身の引き締まる思いで浅学菲才ではありますが、その責を全うすべく全力で職務に邁進する所存であります。

舟見寿楽苑は昭和53年に富山県内6番目の施設として設立され、この4月に47年目を迎える長い歴史と伝統を有する施設で、歴代理事長ご尽力のもと、これまで着実にその実績を積み重ねて来ました。

しかし、施設業界を取り巻く環境はますます厳しくなっており、介護の人材不足や介護業務の負担等、いくつもの大きな問題に直面しているのも事実です。今後、役員、職員等が一丸となり、問題解決等に向け施設の健全な運営と進展に取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

社会福祉法人舟見寿楽苑に関係する全ての皆様、そして地域の方々には、これまで同様ご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

節分豆まきは福の神も加勢

2月3日の午後、寿楽苑2階広場と小ホールで、節分の豆まきを行いました。

入居者様がまいたのは豆ならぬ、紅白のお手玉だったのですが。

まず、福の神が広場に登場。

入居者様は、福の神から受け取ったお手玉を、後からやって来た赤鬼目がけてぶつけます。

福の神と一緒に、大きな声で「福はうち、鬼はそと」と言いながら、狙いを定め「えいっ」。すると、赤鬼は「あ、痛たたっ」とまるで崩れ落ちるように。



入居者様のなかには、鬼に向かって「あららっ。痛なかったけ」と優しく気遣う方も。

赤鬼と福の神は、広場の他に部屋も訪問しての豆まきです。

部屋にいた入居者様は、驚いた顔で「何が来たがかと思たら、鬼やった。今日は節分やったがいね」。

最後に、入居者様が福の神と一緒に万歳をすると、とても満足げな表情に変わります。

そして、「これで、1年間無病息災間違いないわ」と、笑顔の入居者様でした。



ひばり野苑



ホットケーキ作りを楽しもう

2月19日、ひだまり広場で入居者様と一緒に、ホットケーキ作りを行いました。

温めたホットプレートに、かき混ぜたホットケーキ生地を、食べやすい大きさに少しずつ入れていきます。

片面が焼けたホットケーキをひっくり返しながら、「こんがり焼けて、おいそうやね」「いい匂いがしてきたぜ。はよう食べたいわ」などと。

出来上がったホットケーキには、はちみつをかけていただきます。



「こりゃあ、甘て、おいしいね」
「みんなで焼いたさかい、余計おいしいがやわ」
そして、お釈迦の団子も、ホットプレートと一緒に焼き、砂糖醤油をつけていただきます。
「熱いかも知れんから、フーフーして食べんと」
「ありがと。まかったよ」
食べながら、「今度は、おはぎでも作りたいね」と、もう次の計画の話が始まっています。
「楽しかった」と、ホットケーキ作りは、大好評でした。

デイサービス



三味線ショー

2月28日の午後、デイサービス広場で三味線ショーを開催しました。

利用者様は三味線の演奏と歌声を、すぐ間近で。皮切りは、富山県民謡の、コキリコ節。どなたも知っている民謡なので、手拍子が上がります。

そして、黒田節、越中舟見小唄と続きます。
「この舟見小唄、七夕まつりで街流しやっとなるね」
次が、佐渡おけさ、花笠踊り、ソーラン節。
「この曲、集まりがあったとき、よう踊ったもんや」



続いて、お待たせしました、ご存じ越中あわら節。
利用者様は、椅子に座ったまま、あわら節の手踊りが始まります。
「誰か、踊らんかね」
「そうやわ。誰か踊ったら、一緒に踊るがに」
そして、東北地方の民謡、秋田おばこ、リンゴ節、南部俵積み歌、津軽甚句と。
「今日は、いい歌ばかり聞かせてもろたわ」
「ありがとね。次も、また頼むちゃ」



スナック喜楽開店

1月17日、コミュニティルームでスナック喜楽を開店しました。スナック店内の飾りつけは、前日から。

喜楽苑の綺麗どころを集め、お菓子やノンアルコールビールなどで、入居者様のおもてなしです。

入口近くには、黒いベールで顔を覆い、少々怪しげな雰囲気醸し出している、占い師の姿も。

飲み物の売れ筋は、ノンアルコールビール。なかには、「お代わりちょうだい」と、2～3杯ごくごく飲み干す入居者様もいらっしゃいました。



カラオケタイムになると、入居者様は、マイクを握って自慢の歌声を披露です。何曲もデュエットする入居者様がいるなど、マイクは引っ張りだこ。

カラオケの後は、釣り堀に挑戦し、魚に見立てたパンを釣ります。

「やったー」と、上手にパンを釣る方。うまく行かず、「ありゃー」とがっかりする方など様々。

参加したどの入居者様にも、笑顔でスナック喜楽を楽しんでいただけたようです。

行 事 等



体を動かし集う会

2月12日、ひばり野苑のひだまり広場で、体を動かし集う会を開催しました。まず、職員の動きに合わせて、全員ゆとりっち体操で体をほぐします。

「体、えらい、かたなってしもたわ」

「あんた、やこいねけ。私と全然違うもん」

続いて、大波小波ゲームです。ボールを落とさないよう、声を揃え「よいしょ。どっこいしょ」の掛け声も。

最後に、本格的な抹茶とケーキをいただきながら、「今日は、運動できたし、えらい楽しませてもらうたね」。



750回目の上映会



3月7日、舟見寿楽苑、ひばり野苑、喜楽苑の広場などを巡回して行っている上映会が、750回目を迎えました。

上映会の第1回目は、令和元年11月のこと。場所は、今回と同じ、舟見寿楽苑1階広場でした。

この日、入居者様・利用者様は、昭和の時代に活躍した、懐かしい歌手などをスクリーンで。そして、画面の下に表示される歌詞を見ながら、一緒に口ずさむなど、上映会を楽しんでいました。

まごころ善意

令和 7年 1月17日～令和 7年 3月17日
(順不同・敬称略)

寄付金

・ひばり野小学校



寄付物品

・新田 笑子 ・福澤 淳一 ・匿名

 ご家族様・関係する皆様へのお知らせ

4月1日からの面会は、ロビー等広場から「入居者様の居室」へ変更になりますので、お知らせいたします。なお、事前予約はこれまで同様必要ですので、早目のご協力をよろしくお願いいたします。

また、ボランティア・各種慰問につきましては、感染症予防等の観点等から、令和7年度も一部を除き中止とさせていただきますので、ご了承ください。

E式研修会

2月25日から28日にかけて、研修室で計5回E式研修会を開催しました。

講師は(有)金沢サプライの林博之講師が務め、対象は役職者と一般職員に向けてです。

役職者には「自己分析と行動目標の設定」。そして、一般職員には「職場でのコミュニケーション」と題して講義。その後、グループごとに分かれて相互発表。続いて、グループ代表の職員が、緊張した表情で与えられた課題について発表を行いました。



新入職員紹介



3月1日から、ひばり野苑で勤務することになりました、川上月帆です。

介護老人福祉施設での勤務は初めてのため、慣れないことは多くありますが、1日も早く仕事を覚え、入居者様が安心して過ごすことができるよう、努めていきたいと思っています。

笑顔と優しさを忘れず頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

散歩へ出かけた時のこと、青空に白い雪をかぶった山を見て、「あったかくなって来たし、どっか旅行でも行きたいね」。すると連れが「どっか行くがはいいいけど、遠くにいる叔父さんや叔母さんの所へ、手土産のまんじゅう1個でも持って訪ねたら」。そして、「宅配便で立派な菓子箱送るより、どれだけ喜ばれるか」。

足元近く道路の隅に、ペタッと倒れている緑色の葉があるのに気づき「雪の重さで、やられたんやろね」と私。「あんだけ積もったし、木の枝も折れたぐらいやから仕方ないね。でも、草や木たち、どんなことあっても立ち上がってくるわ」。続けて、ニヤツと笑いながら「あんたとは、違ってね」と連れ。

楽しむのはいつも自分だけ。でも、自分だけより笑顔の数を増やせば、きっと楽しさも倍増。手土産に「元気でしたか」の声を添えご無沙汰の家を訪ねる計画を立てれば、曲がり気味の背中も少しは真っすぐに。